

高次脳機能障害に関する講演会

特定非営利活動法人 宝塚高次脳機能障害者共生の会
〒665-0034 兵庫県宝塚市小林 5 丁目 3-43 エスティー宝塚 106 号

助成事業の概要

日時：2019 年 11 月 16 日 (土) 13:00～16:00

場所：宝塚ソリオホール

対象：高次脳機能障害に関心のある住民、当事者、家族、支援者

プログラム：

13:00～13:10 オリエンテーション

13:10～14:20 当事者とご家族の話

4 組のご家族から「障害を持ちながらも日々生き生きと過ごすためのヒント」となるお話を発表しました。

14:35～16:00 種村留美氏講演会「高次脳機能障がいを持つ方が暮らしやすい社会とは」

神戸大学大学院教授種村留美氏の講演会を実施しました。

16:00～16:15 全体での Q&A

種村先生への質疑応答

事業の成果

高次脳機能障害はある日突然の病気や事故により発症し、当事者や家族のそれまでの生活を一変させます。また、症状は完治するものではなく、症状と折り合いをつけながら新たな生活を再構築する必要があります。症状は外見からは分かりにくく、周囲のみではなくご本人も理解しがたいことも多いのが特徴です。その為、当事者だけでなくご家族も日々の生活に困り事を多くかかえ悩んでいる方が多いです。Wakaba は、発症後長年

経過した当事者・家族も多く、これまでの経験談はどのような専門家の講義よりも説得力があり、同じ経験をしている方にとって有用な情報となります。

今回 1 部では、発症後数年～20 年近く経過している 4 組の当事者とご家族に登壇いただき、これまでの生活で工夫していることや乗り越えてきたことをお話していただきました。アンケートからは、1 部の話に感動した、役に立ったという声が多くきかれました。

2 部では、高次脳機能障害のリハビリテーションに精通している神戸大学の種村留美教授に講義をいただきました。高次脳機能障害の向上には、生活上での具体的活動を目標にリハビリテーションを行うことが効果的であること、実際のリハビリテーションの方法について海外の事例も交えて講義をしていただきました。支援者にとって、貴重な情報になりました。

法人や講演会の認知度も向上し、今年も約 150 名の方にご参加いただき、今年も盛況で終わることができました。当事業所についての広報にもつながり、見学やお問合せのご連絡もいただいております。

成果の広報、公表

この度の講演会の報告は、ホームページへの掲載、年 2 回発行の施設のニュースレターへの掲載をいたします。また、会の様子についての動画 DVD を作成し、当日参加できなかった方や新しく当法人にお見えになった方など、希望者への貸

し出しを実施します。その他、当法人主催の家族会、交流会での報告や DVD 鑑賞を実施します。特に、第 1 部は同じ当事者やご家族からは「勇気をもらえた」、支援者からは「今後の支援に活かしたい」など前向きなご意見を多数いただきました。多くの方に見ていただく機会を作っていきたいと思います。

また、今後は、外部に講師として講義を実施する際の参考資料としても用いる予定です。

今後の展開

定期開催している講演会は、今年も助成金を頂いたことで、今回も外部講師を招いて大きな会場で実施することができました。この講演会は、わかりにくい障害である高次脳機能障害について、地域への理解を深め、当事者、家族、支援者が対処法を知り、住みやすい地域環境を作ること为目标にしています。少しずつ法人や講演会の認知度も向上し、チラシの作成・配布後早い時期からの申し込みも増えています。

今後は高齢化社会に併せて認知症も含めた高齢者にも役立つ情報も交えながら、引き続き多数の参加者の方に参加していただける会を企画していきます。

支援者のみではなく、当事者、家族が高次脳機能障害への対処法を身に着け、自ら生活を向上させる技を習得する会を今後も検討していきます。地域における障害の支援ネットワーク作りも講演会により継続していきます。